

記者発表要旨

商業印刷からパッケージ印刷まで 準備時間短縮とオペレーター支援を強化し、バージョンアップした 「1060/1020V2モデル」を発売

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社(代表取締役社長 広川 勝士)(以下 RMGT)は、優れた耐久性、印刷品質、操作性で、市場の多くのお客様に評価されているフラッグシップ機、RMGT 10シリーズの B1判「1050V1モデル」と菊全判ワイド「1020V1モデル」をバージョンアップした「1060/1020V2モデル」を2021年4月より発売します。

印刷市場では多品種、小ロット、短納期化への傾向がますます強くなっています。また、若手オペレーターの確保が難しいこと、熟練者の減少で印刷ノウハウの伝承が困難という課題を抱えています。こうした状況に対応して、RMGT では印刷機の稼働率を高める自動化装置やスキルレス操作、印刷品質の自動管理などを可能にする各種のデジタル制御システムを開発し、RMGT 10シリーズに搭載してきました。

今回、RMGT 10シリーズの「1060/1020V2モデル」では、商業印刷市場、パッケージ印刷市場に向け、さらなる生産性アップとオペレーター支援を強化した様々な新機能を開発し、採用しました。

商業印刷用途としては、片面印刷機 ST、両面専用印刷機タンデムパーフェクターTP、片面・両面兼用印刷機 PF の各タイプを対象とし、新開発の自動運転機能「スマートアシストプリンティング^{※1}」をはじめとし、目標濃度に素早く到達する新たな予測制御システム、ジョブデータの自動並び替え機能^{※1}、ブランケット洗浄時間の短縮など、既存モデルに比べて最大約70%^{※2}の準備時間短縮を実現しました。自動運転機能「スマートアシストプリンティング」は、画面のワンタッチ操作で複数ジョブの連続印刷を全自動で行える機能です。用紙を抜き取ることなく自動で濃度調整、見当合わせが行える印刷品質管理システム PQS-D^{※1}と連動し、小ロット連続印刷の稼働率の向上と省力化に大きく寄与する機能となっています。

パッケージ印刷用途としては、薄厚兼用印刷機 LX を対象とし、給排紙性能を一段と高めパッケージ印刷の実速度域を大幅に向上しています^{※1}。さらに、商業印刷用の ST、TP、PF タイプで追加された準備時間短縮の機能にくわえ、印刷中に次の仕事の準備作業が並行して行える昇降式コーティングユニットを新たに装備できるようにし、パッケージ印刷における準備時間を既存モデルに比べて最大約40%^{※2}短縮しました。

この他にバージョンアップモデルでは、給紙部、排紙部の操作パネル、ボタン類、カバーデザインを総合的に見直すことで、操作性、アクセシビリティの向上を実現しています。また、1060モデルでは、用紙幅サイズをこれまでの1,050mmから1,060mm(印面幅1,050mm)に拡大し、B5サイズの16面付け印刷など仕事の幅をさらに広げる仕様としました。

RMGT は今後も更なる印刷品質・生産性向上とオペレーター支援を目指し、お客様の課題解決に積極的に取り組んで参ります。

※1オプション

※2社内スタッフにより効果測定した数値です。オペレーターの熟練度や印刷条件によって数値は異なります。

1060/1020V2 モデルの主なバージョンアップポイントは次の通りです。

＜全モデルに共通のバージョンアップポイント＞

1. 小ロット連続印刷の稼働率を高める自動運転機能“スマートアシストプリンティング”※
画面のワンタッチ操作でインキプリセットからブランケット洗浄、版交換、テスト刷り、見当合わせ、濃度調整、本刷りまで、複数ジョブの連続印刷を全自動で行えるスマートアシストプリンティングを新開発。小ロット連続印刷の稼働率向上と、省力化を実現します。
※オプション
2. 目標濃度に素早く到達し、損紙枚数を低減する新開発の予測制御システムを搭載
自動で濃度補正值を設定し、インキキーへとフィードバックする、これまでの制御システムをさらにグレードアップした新たな予測制御システムを開発。目標濃度まで素早く到達し、刷り出しまでの損紙を低減させます。目標濃度に到達した後も、予測制御システムにより最適濃度に対して自動で追従しますので、安定した印刷濃度を維持します。
3. ジョブデータの自動並び替え機能※
印刷会社様の基幹システムからのデータを基に、用紙、色、納期などの印刷条件に合わせた最適な順序にジョブの並び替えを自動で行えます。用紙替えなどの段取り時間が短縮され、効率的な運用が行えます。
※オプション
4. ブランケット洗浄の時間短縮
ブランケット洗浄装置の洗浄サイクルを最適化し、洗浄時間を従来モデルより約20秒短縮しました。
5. 給紙部・排紙部の高い操作性とアクセシビリティ
給紙部、排紙部の操作パネルにタッチパネルディスプレイを装備しました。また、人間工学にもとづき、給紙部、排紙部のパネル、ボタン類、カバーデザインなどを総合的に見直し、操作性・アクセシビリティを一段と向上しました。

＜薄厚兼用印刷機 LX のバージョンアップポイント(パッケージ市場向け)＞

1. パッケージ印刷の高速化※
排紙部に新開発の多角形真空吸引車を採用。見当部では、操作側、反操作側の横針を同時に作動し、横針の引き力を高める横針プッシュ・プル機構や、前当てで厚紙給紙を確実にを行う前当てひさし上下揺動機構を採用しました。これらにより、パッケージ印刷の実速度域を大幅に向上させました。
※オプション
2. 印刷中にニス準備が行える昇降式コーティングユニット
昇降式のコーティングユニットにより、非使用時はニス胴を上部に移動させ、印刷物の傷発生を防止。ニス胴を単胴駆動※させることで、ニス胴の清掃や版の交換など、次の仕事に向けての準備作業が印刷機稼働中に並行して行えます。また、ニス胴への版取り付けをスピーディに行える、半自動刷版交換装置 SPC※の搭載も出来ます。
※昇降式コーティングユニット搭載機のオプション
3. 用紙変更作業における準備時間削減※
紙厚に連動した見当部のプリセット機能を強化。見当部の紙押さえ機構は、薄紙から厚紙への切替え作業を自動化しました。また、厚紙用紙押さえコロは厚紙給紙に対応して自動で高さ調整を行うため、用紙変更での準備時間を短縮できます。
※オプション



B1 判タンドムパーフェクター8色印刷機 RMGT 1060TP-8/
菊全判ワイド8色印刷機 RMGT 1020V2TP-8



B1 判片面4色印刷機 RMGT 1060ST-4
菊全判ワイド片面4色印刷機 RMGT 1020V2ST-4



B1 判片面薄厚兼用6色印刷機 RMGT 1060LX-6+DU+CC+2LD
菊全判ワイド片面薄厚兼用6色印刷機 RMGT 1020V2LX-6+DU+CC+2LD

・1060/1020V2 モデル 出荷開始時期(予定):2022年1月

以上

<p>お問い合わせ先</p> <p>リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 営業統括部 担当:足立</p> <p>〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8 Tel.03-3927-3300 Fax.03-3927-5716</p>	
---	--